

MITO SHINKIN BANK

もっと「みとしん」を知っていただくために

75th ANNIVERSARY
MITO SHINKIN BANK



REPORT
2020

MITO SHINKIN BANK

REPORT 2020

CONTENTS

はじめに

ごあいさつ	2
みとしんの概要	3
「中期経営計画 2022」について	5

お客さまと共に

法人のお客さまの成長・発展のために	7
個人のお客さまの豊かな生活のために	9
地域社会の持続的発展のために	11
職場環境の充実とお客さまに信頼される 人財の育成のために	13

みとしんの経営体制

業績ハイライト	15
内部管理態勢	17
法令等遵守(コンプライアンス)	19
顧客保護	20
総代会制度	23
管理方針等	25
組織・役員	27
沿革	28
信金中央金庫のご紹介	29

ネットワーク

店舗のご案内	30
店外CD・ATMのご案内	33
営業地区のご案内	33
主な手数料のご案内	34

ごあいさつ



理事長 高 由博

平素は、私ども水戸信用金庫に格別のご愛顧を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

本年もディスクロージャー誌「水戸信用金庫レポート2020」を作成いたしました。本誌では、私どもの取り組み、サービスの内容、最近の業績等について掲載しております。

ぜひご高覧いただき、当金庫に対するご理解を深めていただければ幸甚に存じます。

●令和元年度の経済環境

令和元年度の日本経済は、海外経済の減速や自然災害などの影響から、輸出・生産や企業マインド面に弱めの動きが見られたものの、設備投資や個人消費が増加傾向で推移したことから、緩やかな成長が続きました。

金融情勢は、日本銀行が金融緩和策を継続したことから、長短金利ともに低い水準で推移しました。

当金庫の主な営業エリアである茨城県の経済は、雇用および所得環境に持ち直しの動きが見られるものの、輸出・生産面の一部で海外経済の減速による影響が見られ、生産や消費が弱含んでいることから、持ち直しの動きに一服感がうかがわれました。

こうした状況の下、今年に入ってから新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響により、世界経済は急速な落ち込みを見せております。日本経済においても経済活動が大きく抑制され、景気の急速な悪化が進んでおります。

茨城県内の経済においても例外ではなく、当金庫のお取引先のお客さまにつきましても、大きな影響を受けており、今後も厳しい状況が続くものと見込まれます。

●令和元年度の業績

「中期経営計画2019」の最終年度にあたる令和元年度は、目指すべき金庫像である「お客さまと共に考え、共に行動し、共に成長することにより、お客さまと喜びを分かち合い、お客さまから揺るぎない信頼と支持を得る。」の実現に向け、地域のお客さまとのコミュニケーションを

深めるとともに、お客さまの要望に沿った商品・サービスの提供に引き続き取り組みました。

その結果、おかげさまをもちまして、業績は堅調に推移し、経常利益9億円、当期純利益6億円を計上することができました。

●事業の展望

みとしんでは、令和2年度から令和4年度までの3ヵ年を計画期間とする「中期経営計画2022」を策定いたしました。この「中期経営計画2022」を“みとしんの未来を創る3ヵ年”と位置付け、本計画の達成、そして目指すべき金庫像の実現に向けて、役職員が一丸となって、業務運営に取り組んでまいります。

当金庫は令和2年1月6日に創立75周年を迎えることができました。これもひとえに地域の皆様にも末永くご支援をいただいた賜物と感謝しております。これからもお客さまにとって、もっとも身近な金融機関として、お客さまとの絆を深め、お客さま一人ひとりの夢の実現と地域経済の発展に努めてまいりますので、今後とも更なるご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年7月